

## 目次

まえがき……………3

## 序章……………11

### 第1章 日本の戦後経済再建構想における朝鮮認識の連続性……………23

はじめに……………24

第1節 敗戦直後日本の旧勢力圏「維持」に対する希望的展望と朝鮮……………27

第2節 日本の戦後経済再建構想と「東亜諸国」……………30

第3節 日本の旧「外地」調査研究と朝鮮関係者グループの役割……………37

第4節 鈴木武雄と朝鮮政治経済研究との関わり……………52

おわりに……………55

### 第2章 敗戦前後における日本の朝鮮経済に対する評価と展望……………57

はじめに……………58

第1節 戦前日本における植民地朝鮮経済認識……………60

第2節 植民地朝鮮経済をめぐる戦後日本の認識……………67

第3節 敗戦直後の日本における朝鮮経済「再統合」への展望……………80

第4節 統計から見る朝鮮経済の意味……………87

おわりに……………106

### 第3章 アメリカの韓日間経済分離政策の形成と変容……………111

はじめに……………112

第1節 アメリカの戦後構想の形成過程と地域主義的アプローチ……………114

第2節 戦時中アメリカの朝鮮・日本間経済的分離政策の形成と信託統治問題……………118

第3節 戦後直後の初期占領政策文書における経済的分離政策とその変容……………128

第4節 占領行政における統合的運営……………139

おわりに……………146

第4章 アメリカの対日賠償政策と朝鮮の経済……………149

はじめに……………150

第1節 戦時期におけるアメリカの戦後対日構想と賠償問題……………152

第2節 ポーレー賠償使節団と戦後初期の東アジア地域再編構想……………160

第3節 ポーレー賠償案における朝鮮の位置……………174

第4節 賠償と初期地域主義構想の変容……………191

おわりに……………194

第5章 占領期における韓日石炭貿易の構造と性格……………197

はじめに……………198

第1節 朝鮮向け石炭輸出の指示と対日石炭輸入の理由……………200

第2節 石炭の輸出入過程と政府貿易における比重……………223

第3節 有煙炭と米・無煙炭との連携構想とその挫折……………229

おわりに……………236

終章……………240

補論 日米援助返済交渉と「朝鮮債権」——その一括処理と返済金の使途……………249

はじめに……………249

第1節 援助返済をめぐる論争……………251

第2節 「朝鮮債権」をめぐる論争……………258

第3節 対日援助返済交渉の過程……………263

おわりに……………272

註……………275

あとがき……………340

参考文献……………343